

学長メッセージ：学生の皆さんへ

2020年3月11日
新潟薬科大学学長 寺田 弘

「新型コロナウイルス (COVID-19)」の世界的な感染の拡大に伴い、わが国においても、1月30日に政府が「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、さらに2月25日には「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を決定するなど、国を挙げた感染防止対策に取り組んでいるところです。

学生の皆さんの中には、「新潟県内における感染者数はわずかで、仮に感染しても若年層の重症化はまれなのに、なぜ自分の大学は学生の原則入構制限をしているのだろうか？」と思う人は沢山いるものと思います。さらに、「サークル活動」や集会の自粛、不要不急の移動の制限などにより、新年度の授業開始までの間どのように過ごせば良いのか悩んだり、学友と会えずに困ったりしているのではないかと、思っています。

大学では、国の感染防止対策に則り、学長のもとに設置する「運営会議」において対応を検討し、学校医のご意見を聴きながら、「新型コロナウイルス感染症」への対応について皆さんへお報せし、生活をする上での留意事項などをお伝えしてきました。そのような中、2月29日に新潟市秋葉区内において新潟県内初となる「新型コロナウイルス」の感染者が確認され、さらに昨日も秋葉区内2例目の方が確認されました。特に1例目のケースについては、大学の学生・教職員の生活圏域となるキャンパス周辺での行動歴が確認されたことから、学生・教職員を媒介して、そのご家族、とりわけご高齢の方や基礎疾患をお持ちの方、さらには子どもさんに感染することを防ぎ、医療と健康のスペシャリストを育成する大学として「命を守る」ことを最優先とするため、『新型コロナウイルス感染症』への対応について（第三報）を決定しました。さらに現下の状況を踏まえ、本日3月11日に同・第四報を決定しました。

については、「生命科学系大学として、命を守る行動を最優先にする。」方針を、ぜひともご理解いただき、ご協力のほどお願い申し上げます。

○「新型コロナウイルス感染症」への対応について（第四報）

<http://www.nupals.ac.jp/wp-content/uploads/320a721684fcc8d9f67016721f539d00.pdf>

なお、政府の見解では、3月19日に「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」が、これまでのわが国におけるイベントの自粛や全国一斉休校などの取組みの評価結果を示すことになっており、効果があるとの評価が得られれば、これまでの種々の規制が順次解除されていくものと思われませんが、すでに社会・経済にも影響が生じてきており、楽観視できない状況もまた事実です。

医療と健康のスペシャリストを目指す本学の学生の皆さんにおいては、一般市民の皆さん以上の、より高い意識をもって新型コロナウイルス感染症の動向を冷静に見つめていただきたいことと、大学のホームページの関連情報を常に確認していただき、感染防止対策の徹底をお願いいたします。

新年度の授業が開始されるまでの間は、これまでの学びや学生生活を振り返る良い機会であり、また、新年度からの学びや学生生活、そして社会人として羽ばたくうえでの準備を行う貴重な機会ともいえます。学生の皆さんにおかれましては、ぜひ有意義に活用していただきたいと強く願っております。

大学は、総力を挙げて皆さんを多面的にサポートしてまいります。学修面や就職の準備などで困ったことや相談がありましたら、遠慮なく、担当のセクションに気軽に相談してください。

以 上